

学校支援活動事業訪問

本宮市訪問【本宮市立白岩小学校】

訪問日：令和元年7月4日（木）10：05～11：05

場所：本宮市立白岩小学校

内容：第6学年 総合的な学習「茶の湯体験学習」の
学習支援ボランティア

白岩コミュニティーセンターの一室に掛け軸や茶花があつらえられ、美しい緋毛氈が敷かれています。茶釜や炉、屏風などの茶道具が風情を感じさせます。そんな素敵な茶室で、茶の湯体験学習が行われました。

本日のボランティアは登椰さん、角沖さん、菅野さんの3名です。お師匠様として、伝統ある茶道の由来やしきたりを6年生にもわかるように易しく説明して下さいます。20名の児童は、礼儀を重んじた動作に「お相伴します。」「お手前頂戴いたします。」といった美しい言葉を交えながら日本の伝統文化をしっかりと体験することができました。なんといっても、おいしいお茶やお菓子にほころんだ子どもたちの穏やかな笑顔が印象的でした。

児童の感想

ちょうど社会科で室町文化を勉強したばかりなので、茶の湯を体験できてよかったです。

お茶もおまんじゅうもとてもおいしかったです。日本の文化はとてもいいなあと思います。

先生から

教育課程にこの「茶の湯体験学習」を位置づけ、学校の伝統として毎年活動しています。

教務主任がコーディネーターとこまめに連絡を取り合い、学校支援活動の充実を目指しています。

地域コーディネーターより

活動に際して、学校・ボランティア双方の要望がうまくつながるようにしています。今回は事前に茶の湯の基礎知識を予習してもらうことで、スムーズな活動になりました。

ボランティアの方より

地域の子どもたちに日本文化の良さを伝えることができるのはとてもうれしいことです。コーディネーターの方にお手伝いして下さい方を募集していただき、とても助かっています。



この茶の湯体験は、白岩小学校では10年ほど続いている伝統的な活動とのことです。地域コーディネーターが、学校の要望と同時にボランティアの方の思いも大切に、Win-Winの関係になるように丁寧にコーディネートしていただいています。これが継続的、安定的な活動の基盤になっているようです。

地域全体で学校教育を支援する体制が十分に整っていることを学ばせていただいた訪問となりました。